



山崎文悟議員

## 防災対策

# 地震・津波対策は万全か

## 地域内での防災活動が重要

**質問** 当町をはじめ三陸の沿岸地域は、これまで幾度となく地震や津波によって、甚大な被害を受け、多

くの尊い人命を失ってきた。町として、津波・地震対策をどのように進めていくか。また、今後の大きな課

題は何か。

**沼崎町長** 地域防災計画に基づき、防潮堤をはじめ、海岸保全施設、津波検潮システムなどの防災拠点施設の整備を進める。毎年実施している総合防災訓練についても、より多くの町民が参加出来る内容に工夫をこらし訓練の充実に努める。



一人暮らし老人や寝たきり老人の避難対策が求められます(平成15年の防災訓練から)

今後の課題として、増加傾向が続く一人暮らし老人や寝たきり老人などの安全な場所への避難や適切な健康管理。大地震の発生時には、大半が停電となることからライフ・ラインの中核である電気系統の迅速な復旧対策。災害の形態は多様で予測し難い部分が多いことから、「自分の地域は自分で守る」という自主防災の考えを基本とした地域内での防災活動が重要である。今後とも、町民、関係機関・団体と密接な連携のもと、最善を尽くす。

## 町の考えを聞く

### 講演会開催などへの支援を

補助制度はない。相談には応じる

#### 青少年育成

**質問** 最近の青少年は、夢や目標をもてなくなっているように思う。

各方面で活躍している著名人を呼んで、体験談を聞くなど、青少年に、いろいろな夢を与える事業を展開することが必要である。

町内における、事業の実施状況、事業実施団体への財政的支援措置制度および支援の実施状況、その制度の周知方法について問う。

**松尾教育長** 町内の各種



2月に行われた「人づくり町づくり町民の集い」での講演の様子

団体での著名人による講演会・実技指導の実施状況については、本やテレビで活躍している著名人の講演会などは、ここ二～三年の間は、開催していない。

講演会などの事業における団体への財政的支援措置については、国・県・町とも直接的な補助制度はない。各種団体などでこのような事業計画がある場合は、相談に応ずるよう努めていきたい。